

じいちゃんの米通信



第8号 2009年12月発行

恵みの母。「あだたら山。」



1年を通して私たちに、大きな恵を与えてくれたあだたら山、私が生まれる遙か以前、何万年もの間、毎年変わらず、雪が積もってその雪解け水が、地下水となって、小川となりそれがいつも合わさって、杉田川と百日川になります。

この川の流れに沿って、**肥よくな扇状地が形成され、私の「田んぼ」がその中にあります。**

この広大な大地と、豊富な水は、人の力ではどうてい作れるものではありません。

この自然の恵みを頂いて皆さんに

美味しい米を届けることができます。**毎日毎日、「恵みの母」を見ては、感謝で頭が下がります。**

皆さんに、「感謝の稲穂」を送ります。

皆さんには、あだたら山同様、1年間おつき合い頂きまして、本当にありがとうございました。

何かその気持ちを形にできないか**家族と相談しました。「感謝してもしきれないよね。頭が下がるよね。」**

「そうだ！！稲穂も私たちに頭を下げてくれたじゃないか。感謝の稲穂だよ。」

とすることで、「後は、これだけじゃ少し足りないから、縁起物の鶴や、干支、言葉を入れて、お札風にしたら楽しいんじゃない？」と、家族で大盛り上がりしました。

あげくは、色も派手に金ぴか、ピンク、赤、字はみどりが良い、いろんなアイデアが次々に出てきて、**「私の1番いいわよねえ〜。」お父さんそうでしょう。**

もうこうなると1つ絞ることなんてできません。この際、**「全部ありだよ。」**とすることになり、**「私風、妻風、娘風、孫風、この世に1つしかない手作りの正月飾り」**ができました。

よかったら飾ってみてください。(宗教とは一切関係ありません。)



福島県安達郡大玉村大山字明路内24番地

「じいちゃんの米」

伊藤一男：TEL 0243-48-2391 (FAX兼用)